

働きやすい職場環境づくり

当社では、社員が生産性の高い働き方を実現し仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)を図ることができるよう、各種制度・施策を導入しています。

特に年休に関しては、半日年休取得可能回数の拡大や年間5日の計画年休制度を実施していることで、近年の取得率は70%以上と高い数値を維持しています。

ワーク・ライフ・バランスのための諸制度

制度名	内容
育児休業	一定要件を満たした場合、子が「1歳半」または「1歳を超えた最初の4月20日」まで育児休業を取得することが可能。
配偶者出産・育児支援休暇	配偶者が子を出産する男性社員を対象に出産から8週間以内(7日間まで)休暇取得可能(有給)。
看護休暇	子どもや配偶者の看護のために積立保存した失効年休のうち年間20日間を限度に利用可能。
短時間勤務	小学校3年生以下の子どもの育児のため所定労働時間を30分単位、最高2時間まで短縮可能。
半日年休	年間30回を限度に半日単位で年休取得可能。
計画年休	一斉計画年休2日、個人別計画年休3日の取得を奨励。
リフレッシュ休暇	満50歳到達後1年以内に連続10日の休暇取得(有給)、奨励金あり。
再雇用リフレッシュ休暇	60歳到達時前後1か月の間に連続3日間の休暇取得可能(有給)。

率直な対話と相互理解に基づく労使関係

日産化学と日産化学労働組合は、これまで築き上げてきた相互理解と信頼に基づく良好な労使関係のもと、経営の良きパートナーとして、お互いに力を合わせてワーク・ライフ・バランス等の諸課題の解決、実現に取り組んでいます。

多様な人材・個性・考え方の尊重

当社では、年齢、性別、国籍などにかかわらず、幅広い分野において、多様な人材が活躍しています。

内容	単位	2013年数値
正社員	男性(人)	1,543
	女性(人)	164
新入社員	男性(人)	34
	女性(人)	7
定年退職者再雇用	総数(人)	66
再雇用率	(%)	63
女性比率	(%)	96
女性管理職	人数	9
	管理職中(%)	20
障害者雇用	人数	33
	雇用率(%)	2.2
育児休業取得者	男性(人)	0
	女性(人)	10
育児短時間勤務	男性(人)	0
	女性(人)	7
月平均時間外労働	(時間)	18
年次有給休暇取得率	(%)	76.9
入社3年後までの離職	人数	1
	(%)	3.1

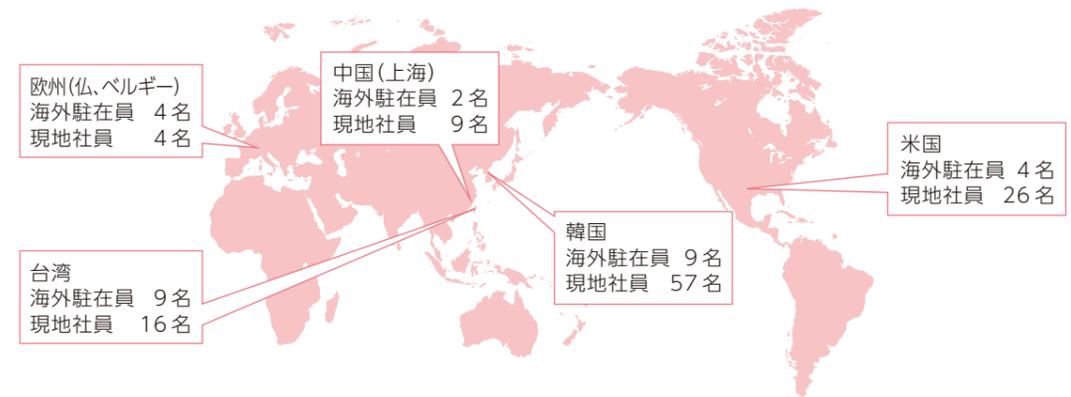


労使意見交換会

グローバルに活躍する社員たち

当社は、海外の主要子会社で多くの海外駐在員が、現地の社員とともに活躍しています。現在、駐在員は5カ国

計28名が営業、研究、財務業務等に従事しています。



異文化コミュニケーション

当社では、新興国を中心とする海外市場が今後の成長を担うという認識のもと、海外展開を加速しています。

今後、海外拠点に派遣される要員や海外出張もさらに増加されることが見込まれており、文化的背景を理解し、真の意味でコミュニケーションがとれる人材の育成が急務となっています。当社グループでは、この課題に対応するため、マインドセット教育を重視した「英会話研修制度」「語学留学制度」を導入しています。

英会話研修制度では、ただ語学を学ぶだけではなく、海外におけるビジネスマナーや文化も合わせて学習し、自らの意思を正確に伝え、多様な人々とともに仕事ができることを目標としています。また、日本人講師によるグループレッスンやネイティブ講師によるマンツーマンレッスンなど受講生のレベルに応じた多様なプログラムを用意し、高いモチベーションを維持し、学習ができる仕組みを導入しています。



英会話研修の様子

語学留学制度では、現地でのホームステイを取り入れることで、多様な人々と働く上で大切なマインドセットを、実践の中で身につけられるプログラムとしています。異なる文化に実際に触れあうなかで、語学の壁に苦しみながらも、主体的にコミュニケーションを取り続けることで、研修生一人ひとりに成長の跡がはっきりと見られる結果を得ています。

Topics

海外子会社紹介(NCK)

NCKは韓国京畿道平澤市(ソウルの南80km)に位置し、サンエパーおよびB ARCの研究、製造、販売を行っています。製品は韓国内を初めとして、アジアや北米にも輸出されています。

社員数は約70名で、うち駐在員は9名です。営業、研究、工場幅広く活躍しており、現地社員とのコミュニケーションを密にとることにより、円滑な業務遂行に努めています。

今年は拡大する需要に対応すべく、製造プラントの増強を実施しました。今後も、NCKが機能性材料事業の一大拠点として、世界に貢献する会社になるよう事業活動に取り組んでいます。



社会に貢献する製品
CSRマネジメント
レスポンスフルケア活動
「消費者・顧客との関わり」
ステークホルダーとともに
「労働慣行」
ステークホルダーとともに
社会との対話
サイトレポート
SDG6000 中核課題対照表